

科目番号	25	科目名	デザイン史概説A																																																		
英文科目名																																																					
大学・短期大学名	成安造形大学			大学																																																	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1																																																				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120																																																	
担当教員	島先 京一 (芸術学部 芸術学科)																																																				
教室名	遠隔(オンデマンド)	会場	専用メールアカウント宛に授業課題提示																																																		
授業期間	2021年4月13日(火)～2021年7月20日(火) <毎週火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40																																																				
超過時の選考方法	抽選																																																				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%																																																
	レポート試験(期末)	60			%																																																
	平常点(出席・授業態度)				%																																																
	その他(ミニレポート)	40			%																																																
別途負担費用	なし あり()円																																																				
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルのノート作成を心掛けてください。 ・YouTubeを用いて講義動画を配信予定。 ※別途専用メールアカウント配布。受講には、パソコンやネット環境が必要です。 																																																				
<p><講義概要・到達目標> 18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。</p>																																																					
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月13日</td> <td>歴史とは何か</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月20日</td> <td>産業革命の概要を考える。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月27日</td> <td>産業革命とものづくり</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月11日</td> <td>イギリス社会の階層性</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月18日</td> <td>アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月25日</td> <td>1851年の万国博覧会</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6月1日</td> <td>ウィリアム・モリスの活動の概要</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月8日</td> <td>ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月15日</td> <td>ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月22日</td> <td>美術工芸運動</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月29日</td> <td>アール・ヌーヴォーの概要</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7月6日</td> <td>フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7月13日</td> <td>スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7月20日</td> <td>アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>月 日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回	月日	テーマ・キーワード	1	4月13日	歴史とは何か	2	4月20日	産業革命の概要を考える。	3	4月27日	産業革命とものづくり	4	5月11日	イギリス社会の階層性	5	5月18日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革	6	5月25日	1851年の万国博覧会	7	6月1日	ウィリアム・モリスの活動の概要	8	6月8日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目	9	6月15日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目	10	6月22日	美術工芸運動	11	6月29日	アール・ヌーヴォーの概要	12	7月6日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー	13	7月13日	スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー	14	7月20日	アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味	15	月 日	
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月13日	歴史とは何か																																																			
2	4月20日	産業革命の概要を考える。																																																			
3	4月27日	産業革命とものづくり																																																			
4	5月11日	イギリス社会の階層性																																																			
5	5月18日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革																																																			
6	5月25日	1851年の万国博覧会																																																			
7	6月1日	ウィリアム・モリスの活動の概要																																																			
8	6月8日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目																																																			
9	6月15日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目																																																			
10	6月22日	美術工芸運動																																																			
11	6月29日	アール・ヌーヴォーの概要																																																			
12	7月6日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー																																																			
13	7月13日	スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー																																																			
14	7月20日	アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味																																																			
15	月 日																																																				
<p><教科書・参考書> 授業の進行に合わせて紹介します。</p>																																																					